

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

栗橋小学校（埼玉県）

【取組内容①】クラウド活用を通し、一人ひとりの特性に応じた個別最適な学び

ひまわり学級では、児童の特性に適した学習補助ツール①を多く活用し、個別最適な学びの実現を目指した。

①色彩に関する感覚が乏しく、絵の具を使うと濁った色になりがちであった児童に対して、混色の結果が予めわかるアプリを活用した。

②時刻と時間の学習が苦手で、「〇〇分後」「〇〇分前」が捉えづらい児童に対して、針を動かすと経過時間がわかるツールを用いた。

③文字を読んで内容を理解することに困難さを抱えている児童に対して、Chromebookの音声読み上げ機能を活用した

